

2011年6月4日

於：浅間縄文ミュージアム

邪馬台国の時代のシナノ

川崎保

- 1 縄文ムラと弥生ムラ
- 2 弥生ムラから「赤い土器のクニ」へ
- 3 縄文土器の「型式」と弥生土器の「様式」の違いが意味するもの
在地と搬入の割合の差—縄文と弥生の地域社会の様相の差
縄文と弥生の流通の違い
- 4 「赤い土器のクニ」は成り立つか
「クニ」の実態
赤い土器のクニは実在するか
クニと国（カールグレンのクニ・郡起源説）
赤い土器のクニの起源
- 5 「赤い土器のクニ」から「シナノのクニ」へ



カールグレン（1889-1978, Klas Bernhard Johannes Karlgren、中国名：高本漢）スウェーデンの言語学者、中国学者。古代の漢語の音（上古音）の研究に大きな業績を挙げた。

kap	(鉄)	-ko→	かいこ(蚕)
t'äk	(琢)	→	とぐ
päk	(剝)	→	はぐ
t'juk	(築)	→	つく
sjäk	(析)	→	さく
kek	(穢)	→	kaki (垣)
njat	(熱)	→	なつ (夏)
*jwäk	(闕)	→	ゆか (床)
*jap	(邑)	→	いえ (家)
sjät	(室)	→	さと (里)
ziung	(松)	→	sugi (杉)
m'ek	(麥)	→	mugi (麦)
t'juk	(竹)	→	take (竹)
b'uən	(盆)	→	pune (舟)
k'äm	(埴埴)	→	kama (釜)
kljäm	(鑊)	→	kama (鑊)
sjän	(船)	→	sine (船)
g'juan	(郡)	→	kuni (国)
kj'wän	(絹)	→	kinu (絹)
ma	(馬)	→	uma (馬)
mei	(梅)	→	ume (梅)

カールグレンの古代漢語と日本語の対応表

『日本語の歴史』1、平凡社、2006年